

米子工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	基礎英語演習Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0027	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	Vision Quest English Grammar 24 (啓林館)、English Grammar 24 Workbook (啓林館)、Ultimate 総合英語 (啓林館)			
担当教員	中井 大造,森田 典幸,青砥 正彦			
到達目標				
1) 学んだ文法のルールが理解でき、問題演習などでそのルールを使える。 2) 学んだ文法の知識を生かして、英語を読んだり聞いたりできる。 3) 学んだ文法の知識を使って、英語を書いたり話したりできる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
1)	問題演習で 8 割以上正答できる。	問題演習で 6 割以上正答できる。	問題演習で 6 割以下しか正答できない。	
2)	英文の内容が 8 割以上理解できる。	英文の内容が 6 割以上理解できる。	英文の内容が 6 割以下しか理解できない。	
3)	学んだ文法を 8 割以上正しく使える。	学んだ文法を 6 割以上正しく使える。	学んだ文法を正しく使える割合が 6 割以下である。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 E				
教育方法等				
概要	社会とかわかるためのコミュニケーション能力を養う科目である。中学校で習得した語彙・文法を基礎にして、さらに英語の理解と表現の幅を広げるための文法事項を学習する。「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能をバランスよく伸ばす基盤となる文法力を身につける。			
授業の進め方・方法	文法書とワークを使いながら授業を進める。毎授業新しい文法事項を学ぶため、その日のうちに復習をし、学習内容を定着させること。復習用の問題集があるのでそれを宿題として解き、毎時間提出すること。			
注意点	授業に関する質問は適宜受けつける。積極的な授業参加を期待する。			
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、動名詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		2週	動名詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		3週	動名詞の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		4週	分詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		5週	分詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		6週	分詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		7週	分詞の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		8週	前期中間までの復習 (前期中間試験)	中間試験までに習った内容を理解する。
	2ndQ	9週	関係詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		10週	関係詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		11週	関係詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		12週	関係詞	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		13週	関係詞の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		14週	前期のまとめと演習	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		15週	前期末試験	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		16週	復習	期末試験までに習った内容を理解する。
後期	3rdQ	1週	前期の復習、比較	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		2週	比較	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		3週	比較	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		4週	比較の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		5週	否定	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		6週	否定	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		7週	否定の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		8週	後期中間までの復習 (前期中間試験)	中間試験までに習った内容を理解する。
	4thQ	9週	仮定法	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		10週	仮定法	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		11週	仮定法	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		12週	仮定法の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		13週	無生物主語	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		14週	無生物主語の復習 (小テスト)	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		15週	後期末試験	習った文法知識を使って、演習問題が解ける。
		16週	復習	期末試験までに習った内容を理解する。
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語量の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
評価割合							
	試験	小テスト	提出	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	15	15	0	0	0	100
基礎的能力	70	15	15	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0